

第16号

同窓会報

平成26年11月1日発行

# 会報



八王子学園同窓会

## ご 挨拶

八王子学園同窓会  
会長 濱野 益 男

平素は同窓会の活動に対しご理解、ご協力を戴き誠にありがとうございます。

さて、当会では先年、同窓会創立70周年を記念して、私たちが戦中、戦後、そして現代に至る時代の移り変わりの中で、学生は、学校は、また世相はどのようだったかの記録をまとめた記念誌を発行しました。

その中で、一般には知られていないいくつかの事実、記録が判明しました。

一例を挙げると、「上野原分校の存在」。今まで本校の記録の中で、山梨県の上野原町に本校の上野原分校が存在したと言うこと、そして、教員は本校から派遣され授業を行っていたことは知られていました。しかし、その実態と開設一年で閉校した事情は全く不明で、今回の企画に伴う応募原稿によってその詳細が判明しました。

山梨県の東の端にある上野原町。生徒が中学に通うには大月か八王子まで行かなければなりません。このことは、当時の交通事情のもとでは大変なことでした。そこで、町長はじめ土地の有職者が集まり私立の中学校を作ることになり、本校の分校を昭和21年に開設しました。しかし、なぜ1年で閉校したのか今まで全く不明でしたが、昭和22年に行われた学制改革、即ち6・3・3制の施行に伴い町立中学校が開設されたことによるためだったと判明いたしました。

また、戦時中の通学が命がけであったことが書かれた文章もありました。

米軍P51戦闘機の機銃掃射により列車が襲われ大きな被害が出た「猪ノ鼻トンネルの惨劇」。この日、学校に登校した生徒が帰路、これに遭遇した時の記録です。

このような記事、証言をとりまとめるにあたり、私たちはこれらに関わる記録、資料は保存すべきではないか、また、幾人かの方から資料の提供と保管の依頼が寄せられ学校当局に資料の保管場所の設置をお願いしたところ、校舎の一部に資料室の設置が決まりました。

今回この記念誌を作るにあたって、原稿を頂いたもののその出版を見ずして3名の方が他界されました。戦前、戦中の卒業生の高齢化が進んだ現在、資料の散逸を防ぎ、収集する事は急務の問題であると考え、同窓会としてこの問題に取り組んで行きたいと思えます。今後のご協力をお願いいたします。

## ごあいさつ

八王子学園

八王子中学校・高等学校

校長 佐藤 寛文

同窓会会員の皆様におかれましては、各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、本校創立以来、八王子学園八王子中学校・高等学校が発展し今日に至る間、クラブ活動や教育活動などに対する物心両面のご支援を頂き深く感謝しております。

平成24年度に中学校を開校し3年目を迎え、中学校は9クラス261名、高等学校は38クラス1533名になりました。総在籍生徒数は1794名(男子863名、女子931名)で学則定員1650名より144名多いスタートになりました。

創立者の教育理念の深化を図り、文武両道の名門中高一貫校を目指します。志しの育成、国際化の対応を図り、生徒の多様なニーズに応じて文理特進コース、文理進学コース、文理普通コース、芸術コースの4コース制を採用しています。

今年の進学実績は、安全志向が強く国公立大学が減少し、早稲田・慶応・上智・理科大学が増加しました。卒業生が努力しチャレンジした結果です。

国公立大学は、京都大学1名、筑波大学1名、東京外国語大学1名、東京農工大学2名、電気通信大学4名、横浜国立大学1名、千葉大学1名、東京学芸大学1名、東京芸術大学3名、首都大学東京6名、横浜市立大学1名、高崎経済大学1名、高知大学1名、山口大学3名、室蘭工業大学1名、岩手大学1名等、計31名です。

医歯薬系大学は、東京医科大学1名、日本歯科大学2名、昭和大学歯学部1名、東京薬科大学7名、立命館大学薬学部2名、大阪薬科大学3名、昭和薬科大学5名、明治薬科大学4名、横浜薬科大学4名、城西大学薬学部3名、城西国際大学薬学部1名、帝京大学薬学部2名、帝京平成大学薬学部2名等、計42名です。

難関私立大学は、早稲田大学22名、慶応義塾大学8名、上智大学8名、東京理科大学22名、計60名です。

有名私立大学は、明治大学36名、青山学院大学35名、立教大学17名、中央大学60名、法政大学65名、計213名です。

この他に、日本大学85名、東洋大学34名、駒澤大学31名、専修大学61名、計211名です。

また、部活実績はインターハイで、陸上部が男子400mハードル4位、男子4×400m5位、水泳部が男子1,500m自由形2位、男子400m個人メドレー4位、男子200m平泳ぎ8位、男子400mメドレーリレー7位、女子400mメドレーリレー4位です。また、国体で水泳部が400m個人メドレー3位(少年A)、200m平泳ぎ3位(少女A)です。日本ジュニア選手権で陸上部が男子400mハードル優勝、女子400m3位、吹奏楽部は全国大会(マーチング)出場が決まり、野球部は夏の大会の準々決勝で惜敗。

八王子学園八王子中学校・八王子高等学校は、2014年に創立86周年を迎えます。学園モットー「人格を尊重しよう」「平和を心に培おう」のもとに長い歴史の中で人間教育の伝統を培ってきました。将来も豊かな人間を育成し、地域に根ざした学校として発展していきたいと考えています。

同窓会の皆様には、今後とも変わらぬご協力とご支援をよろしくお願い申し上げますとともに、ますますの発展を祈念いたします。

# 定期総会次第

平成26年11月2日(日) 午後1時 開会

司会進行：副会長

- ◎ 開会の辞 八王子学園同窓会 副会長
- ◎ 校歌「愛の学び舎」斉唱
- ◎ 同窓会長挨拶 八王子学園同窓会 会長 濱野 益 男
- ◎ 来賓祝辞 学校法人八王子学園 理事長 稲 村 松 世 殿  
八王子学園八王子中学校・高等学校  
校 長 佐 藤 寛 文 殿

- ◇ 議長等の選任 議 長  
書 記  
議事録署名人(2名) 濱野 益 男 (高校4回)  
新 井 雅 之 (高校30回)

## ◎ 議 事

- 平成25年度 事業報告 会長
- 平成25年度 決算報告 会計
- 平成25年度 監査報告 監事
- 平成26年度 事業計画(案) 会長
- 平成26年度 予算(案) 会計
- その他

## ◇ 議長解任

- ◎ 閉会の辞 八王子学園同窓会 副会長

---

◆ 懇親会(於：富士森会館「海苑」)

## 平成25年度 事業報告

### ◎同窓会報の発行

同窓会報第15号を発行した。

### ◎援助金の拠出について

母校在校生の芸術・スポーツの部門で優れた活動、成果に対して同窓会事業の一環として行っている援助金の交付。本年度も各部門で在校生の目覚ましい活躍があり、当会では「援助金支給規定」によりこれを顕彰した。

### ◎卒業生に記念品の贈呈

「祝卒業 八王子学園同窓会」の銘を入れた卓上型電波時計を贈る。また、当「同窓会報」を特別に装丁し卒業生全員に渡した。

### ◎会議等の開催

平成25年11月 3日 同窓会定期総会を母校マルチメディア教室で開催した。総会第一部では、平成24年度事業報告、決算報告及び平成25年度事業計画案及び予算案等を審議、承認した。

また、本年は任期満了に伴う役員改選期にあたり、審議の結果、同窓会役員及び法人役員について、執行部提案の通り承認された。

第二部は、会場を富士森会館『海苑』に移して懇親会を行い、参加会員が一堂に会して会食を行った。

平成26年 3月 6日 八王子学園八王子高等学校卒業式（オリンパスホール八王子）。同窓会長より祝辞を贈る。

3月14日 役員会開催。新年度同窓会の運営について協議した。席上、欠員であった副会長1名について細谷浩三氏を選任した。

4月 8日 八王子学園八王子高等学校入学式（オリンパスホール八王子）  
八王子学園八王子中学校入学式（本校講堂）

6月27日 三役会開催。総会懇親会についてアンケート結果に基づいて検討。会場を富士森会館『海苑』に決定する。

9月19日 理事会開催。定期総会及び同窓会資料の収集、保管について協議した。

10月17日 幹事会開催。定期総会に伴う諸問題について協議した。

## 平成25年度(第73回) 八王子学園同窓会収支報告

自 平成25年11月 1日  
至 平成26年10月31日

### 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
前年度繰越金	16,182,017	16,182,017	普通預金(6,167,205円)、定額郵便貯金(10,000,000円)、郵便貯金(14,812円)
入会金(終身会費)	3,640,000	3,626,000	@7,000円×518名
預 金 利 息	800	949	預金利息
雑 収 入	100,000	71,000	懇親会参加費(@1,000×71名分)
合 計	19,922,817	19,879,966	

### 支出の部

(単位:円)


科 目	予算額	決算額	摘 要
総 会 費	700,000	558,000	総会々食代(25.11.3、於:富士森会館「海苑」、他)
会 議 費	350,000	240,332	役員会(91,552円)、理事会(31,440円)、幹事会(96,500円)、三役会(20,840円)
印 刷 製 本 費	350,000	378,300	卒業生配布用会報印刷代(174,720円) 幹事会・総会出欠往復ハガキ及び総会開催ハガキ印刷代(29,160円) 総会配布用会報印刷代(174,420円)
事 務 局 費	150,000	150,000	諸経費
通 信 費	120,000	105,000	幹事委嘱状郵送代(4,200円)、幹事会・総会出欠往復ハガキ代(62,400円) 総会開催通知ハガキ代(26,000円)、往復ハガキ代(12,400円)
交 通 費	30,000	14,600	役員交通費(遠方来校者)
援 助 費	2,000,000	1,665,000	クラブ援助金(1,455,000円)、八学杯協賛金(210,000円)
慶 弔 費	50,000	0	
諸 会 費	30,000	0	
記 念 品 費	600,000	479,320	卒業記念品代(電波時計、@¥920×521個)
雑 費	100,000	0	
予 備 費	500,000	0	
合 計	4,980,000	3,590,552	
差 引 残 高	14,942,817	16,289,414	次年度繰越金 普通預金(6,274,602円)、定額郵便貯金(10,000,000円)、郵便貯金(14,812円)

# 監査報告書

平成 26 年 11 月 1 日

八王子学園同窓会

会長 濱野 益男 殿

監 事 須田 佳津緒 

監 事 渡辺 保 

私共は、八王子学園同窓会の平成 25 年度(第 73 回、平成 25 年 11 月 1 日から、平成 26 年 10 月 31 日まで) 収支報告書について、本日、同窓会事務局内で監査いたしました。

監査の結果、下記のとおりご報告いたします。

## 記

八王子学園同窓会の平成 25 年度収支報告書は、銀行等通帳、帳簿記録及び証憑書類の記録と一致しており、また、収入及び支出の内容については特に指摘すべき事項はありませんでした。

よって、私共は上記の収支報告書が八王子学園同窓会の収支状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

## 平成25年度 クラブ援助費内訳

### 【クラブ援助金内訳】

吹奏楽部	200,000 円
書道部	25,000 円
陸上競技部	465,000 円
男子バスケットボール部	435,000 円
水泳部	180,000 円
野球部	150,000 円
計	1,455,000 円

### 【八学杯協賛金内訳】

男子バスケットボール部	60,000 円
女子バスケットボール部	60,000 円
柔道部	90,000 円
計	210,000 円

合計 1,665,000 円



## 平成26年度 事業計画 (案)

3年前から始まった高等学校の定員是正による卒業生の減少も一段落し、今後はこれが常態となります。これに伴い今後の同窓会活動にも大きな影響が出るものと考えます。また、同窓会活動の活性化、効率化と共に同窓会活動の課題として取り組む必要があります。

### ◎援助金の拠出について

同窓会の事業として、母校在校生の優れた活動に対し行う援助活動は本年度も継続して実施します。

### ◎同窓会報の発行

同窓会会報第16号を平成26年11月1日に発行します。また3月には新会員用（卒業生用）の会報を作成し、交付の予定です。

### ◎卒業生に記念品の贈呈

例年行われている卒業生に対する記念品の贈呈は本年度も実施の予定です。

### ◎会議等の開催

三役会、理事会、幹事会等の会議を開催し、必要に応じ会則検討委員会および会報委員会を開催します。

### 同窓会からのお知らせ

#### ◆平成26年度 同窓会定期総会について

下記のとおり開催いたしますので、同窓生の皆様奮ってご参加下さい。

日 時 平成27年11月1日(日) 午後1時より

会 場 八王子学園八王子高等学校

※総会終了後、懇親会を開催いたします(会費1,000円予定)。

## 平成26年度(第74回) 八王子学園同窓会収支予算(案)

自 平成26年11月 1日

至 平成27年10月31日

### 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	摘 要
前年度繰越金	16,289,414	普通預金(6,274,602円)、定額郵便貯金(10,000,000円)、郵便貯金(14,812円)
入会金(終身会費)	3,437,000	@7,000円×491名
預 金 利 息	800	預金利息
雑 収 入	70,000	懇親会々費、他
合 計	19,797,214	

### 支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	摘 要
総 会 費	650,000	総会々食代(26.11.2、富士森会館「海苑」)、他
会 議 費	300,000	三役会・役員会・理事会・幹事会等会議費
印 刷 製 本 費	400,000	卒業生配布用会報印刷代、総会配布用会報印刷代 幹事会開催通知及び幹事会・総会出欠往復ハガキ印刷代
事 務 局 費	150,000	諸経費
通 信 費	120,000	幹事委嘱状郵送代、幹事会・総会出欠往復ハガキ代、総会開催通知ハガキ代
交 通 費	30,000	役員交通費(遠方来校者)、他
援 助 費	2,000,000	各クラブへの援助金、八学杯協賛金、他
慶 弔 費	50,000	
諸 会 費	30,000	
記 念 品 費	550,000	卒業記念品代
雑 費	100,000	
予 備 費	500,000	
合 計	4,880,000	

差 引 残 高	14,917,214	次年度繰越金 普通預金(4,902,402円)、定額郵便貯金(10,000,000円)、郵便貯金(14,812円)
---------	------------	--------------------------------------------------------------

# 思い出の記

—同窓会々員より—



メモは友人 S 君が敗戦で動員先の東洋時計から復学し、ようやく落ちついた学生生活を送れた昭和 21 年（1946）から昭和 23 年（1948）までの、当時の学生生活の実態を日記より抜粋してワープロで打ち出し A4 の用紙にコピーして平成 13 年（2001）の同窓会“すずかけの会”で配られたものである。

メモは年月を追って書かれていたが私は便宜上三分野に分け（1）文化芸術への接点、（2）スポーツへの情熱、（3）青年らしい正義感・冒険心の発露からメモをまとめることにした。

#### （1）文化芸術への接点

- |                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| 昭和 21 年（1946）12.3  | 山水中でジャンバルジャンの“ああ無情”を観劇。 |
| 昭和 22 年（1947）4.12  | 全校、ニュー八王子で“わが道を行く”を観る。  |
| 昭和 22 年（1947）10.17 | 全校、八光館で前進座“ヴェニス商人”を観劇。  |
| 昭和 23 年（1948）1.26  | 全校“育ち行く年”を観る。           |
| 昭和 23 年（1948）3.8   | “美女と野獣”希望者参加で観る。        |

戦後、映画演劇に接する機会が少なかった中学生にとって、これは大きな刺激だった。私的なことだが定年後の、能、狂言、歌舞伎、コンサート、オペラ等の観劇、各種の美術展、演奏会への参加鑑賞のベースになっている。この一年だけでもループル展、ターナー展、前進座の公演、能、狂言、ウィーン少年合唱団の公演、台北故宮博物館特別展等できるだけ多くのイベントに参加するように努力している。特にこのメモを書いた S 君と昭島の MOVIX で観賞したメトロポリタンオペラ劇場のオペラ、プッチーニの“トスカ”は素晴らしかった。これはアメリカで現在公演しているものを映画化したもので料金も 3,500 円、上映時間も 4 時間近いが途中休憩があり幕間には舞台装置の説明や出演者とのインタビューもあって作品理解に大変役にたった。

#### （2）スポーツへの情熱

- |                    |                                   |
|--------------------|-----------------------------------|
| 昭和 21 年（1946）10.9  | 上井草球場で江戸川中と対戦。6 対 5 で勝つ。          |
| 昭和 21 年（1946）10.14 | 上井草球場で五商に惜敗。優勝目前の挫折。              |
| 昭和 22 年（1947）11.15 | 都下中等学校野球大会、上井草球場で蔵前工業に 4 対 0 で勝つ。 |
| 昭和 22 年（1947）11.16 | 京橋実業に 3 対 0 で敗れる。                 |

当時野球部は武智投手を中心に活躍。都内強豪校で校内の人気が高かった。特に昭和 21 年 10 月 14 日の記録には S 君の付記がある。

“相手は都立五商、武智投手の負傷 疲れは覆うべくもなく、遂に優勝を目前に臨んで上井草球場で無念の涙を呑む。武智は昂奮の面持ちで涙に濡れていた。胸中察するに余りあり”

#### （3）青年らしい正義感・冒険心

昭和 22 年（1947）11.6 I 先生授業中突如生徒 U 君を殴る。同じクラスではなかった私には詳細はわからないが、S 君の添え書きに一ヤミ米を拒んで栄養失調死した検事—と新聞記事を引用していることから、当時の厳しい食糧事情が背景のようである。

先生と生徒のトラブルには私の経験から生徒の発言の方が正しい場合が結構ある。このトラブルでそ

の翌日の7日の授業でU君が殴られた理由を質問し、I先生が謝るとメモにあるが、先生の態度も立派。

昭和23年(1948)10.8集団欠席で大島旅行へ。参加者8名、往復の交通費350円とある。当時は旧中5卒が多く高3の生徒は少なかったので参加率はかなり高かったと思う。

戦後3年経過したとはいえ、まだ厳しかった生活環境の中でのこの二つの事件は青年らしい正義感と行動面での冒険的な営みとして特記したい。活力に溢れた青年像の記念として。

### 『中学校に入学した時の思い出』

副会長 坂本 利男

過日西八王子駅近くで、車窓からまだ幼い制服姿数人の中学生を見かけました。本校の生徒であることはすぐわかりました。その時私はふと自分の中学生の頃の思い出が、つぎつぎと浮かんできました。私は昭和25年4月に入学しましたが、市内に行くことを八王子に行くと言い、その田舎から八王子の学校へ片道5キロの砂利道を自転車で通学することになりました。しかし私は小柄な体格で普通の自転車では大変で、見るに見かねた近所のおばさんから父にあれでは大事な物を…だから小さい自転車を買ってやれとの話して、自転車店を数店当たりやっとならぬと中古の24インチの自転車を見つけてくれました(現在では子供用から各サイズ豊富にあります)。入学すると、八王子市内を初め中央線、横浜線、八高線の各沿線から通学する同級生に、田舎育ちの私には、見たり聞いたりすべてが別世界のように感じました。

残念ながら本校中学は、昭和27年4月入学生をもって休校となりましたが、制服姿の中学生を見た時、ふと自分の中学時代を思い、そうか本校も中学が復活し早いもので来年3月には新卒業生が誕生する運びとなり大変おめでとう御座居ます。

### 『神津島での還暦クラス会』

副会長 山田 実

クラス会を本年9月14日(日)に伊豆七島の神津島で行いました。参加は12名で男子6名/女6名の参加でした。昨年のクラス会で、毎度神津島から来ている同級生がいるので、還暦のクラス会は皆で神津島へ出向こうとのことで話がまとまりました。

神津島の便は、調布飛行場から20人乗りのセスナで行く人、船便で行った人もあり、私はセスナで行った組です。調布飛行場11時40分発で、30分少々で神津島空港へ到着です。飛行時間が短いので、遠くへ来たとの感覚はあったようななかったような不思議な感じを覚えました。飛行機は離陸後すぐ横浜、次に大島や三宅島など見え、デジカメで1枚でもいいものがあればと写真を撮りまくりました。海の上では潮目が見え、セスナもいいものだなあとの感想です。空港には迎えが来ていて、島の南部を見てきました。同級生の船宿に到着後は、昼ご飯食べに外へ行き、新鮮な魚があるかと思いきや、普通の喫茶店のメニューでした。宿の周辺を散策して、その後島北部へ車で観光に行き、夕方には島の温

泉施設へ、透明で湯量が多くリラックスできました。これで宴会の下準備は OK、飲んで食べてあとは寝るだけです。

島でのクラス会は、新鮮な魚がメインでとてもおいしくいただきました。珍しい魚が刺身で出ていましたが名前は忘れました。二次会は定番のカラオケで、どこでクラス会を行っても同じですね。翌日は飲みすぎで、朝寝坊です。

高校卒業後、こんなに長い時間同級生と行動を共にしたことはなく、楽しい時間を過ごしました。神津島は観光地でなくのんびりした時間を過ごすところだと思います。温泉で観た夕日がとてもきれいで印象に残っています。

### 『初代体操部を完成させて！』

会計 根本 明

八王子学園に入学1年生半ば頃、友人に誘われて、体操同好会に入りました。その時の部員は友人2人と先輩が4人でした。道具はマット2枚のみで体操部とはほど遠いクラブでしたが、それでも毎日練習に励み、2年生になった時には1年生が10人ほど入部してくださいましたので後輩のためにも機材を全部揃えようと、決意しました。そのころ世間ではオリンピックで遠藤や小野が金メダルを取り日本体操界に話題を奮闘する時代に、我が校では器材がない体操部で、練習はグラウンドの土を高棒木で掃いて慣らし小石を取って四角マスを書いてその上で前輪や逆輪などの基本練習をしましたが、背中や尻が赤く腫れあがり、トイレに座ることも出来ない有りさまでした。1年生も入部して、4ヵ月はつらい思いをしながら一生懸命でしたが、その後コーチや器材がある当時の第2商業に合同練習に行きました。鉄棒やつり輪などを学び、関東大会では床運動などで上位に入り良い成績を残すことが出来、又体育祭ではエン台に立ち体操指導や演技などをする事になって、なかよし幼稚園の園長さんから今演技している部長さんは我が幼稚園の卒園生ですと園児の皆さんに紹介され喜ばれたことを記憶に残っています。そして2年生半ばに友人を予算委員会のメンバーになるよう進め、その後予算を確保することが出来、体育館に移ったさいに、鉄棒、つり輪なども入り、新体操部として練習することが出来ました。又今は亡き稲村先生には、私が部長で頑張っていると応援してくださり感謝しています。今回このような思いもありOB会がなんらかの形で、後輩の練習が苦勞しないで励める環境作りに貢献できれば良いと思います、校長先生や担任の先生方と話し合い応援できれば幸いです。

### 『吹奏楽部での3年間』

会計 池上 洋平

昨年から同窓会新役員となりました、池上洋平です。

私は、十年前八王子高校に入学し、吹奏楽部に所属していました。吹奏楽部は現在もコンクールで優

秀な成績を残し、多くの演奏活動を行い、素晴らしい活躍を見せてくれています。

私が所属していた当時、多いときは部員が130名もいました。高瀬新一郎先生の指導の元、永年過ごした吹奏楽部での日々は、とても充実していました。一年生の頃は、毎日、少しでも先輩に追いつきたい、という思いで必死に練習していました。一年間の集大成として毎年3月に定期演奏会を行っていますが、たくさんのお客様の前での演奏はとても緊張し、途中頭が真っ白になるような思いをした瞬間もありました。仲間と共に演奏し、たくさん拍手をもらったあの時、心から、ヤリ甲斐と満足感を感じました。今でも当時の事をよく思い出します。3年間の部活動を通して本当に貴重な体験をたくさんさせていただきました。一つひとつが一生忘れることのない大切な思い出です。一生を通じてお付き合いのできる、良き友人にも巡り合うことができました。

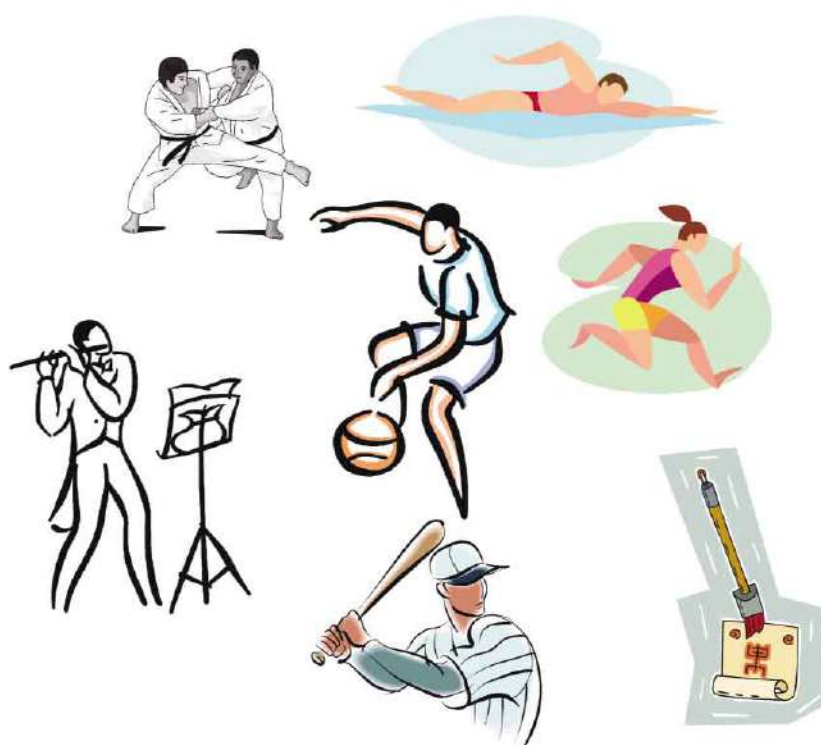
高校時代の3年間の数多くの体験の中で、特に印象に残っているのは、高校3年生の時に行ったウィーンの海外遠征です。私が所属していた当時は、3年に一度、ウィーンで開催される世界青少年フェスティバルに参加していました。このコンクールはオーケストラ、吹奏楽、合唱の三部門で構成されており、世界中から集まった人たちが参加するコンクールでした。音楽を通して様々な国の人に出会い、世界中の音楽に触れられたことはとても貴重な経験になりました。コンクールでは先生方の熱心なご指導のおかげで、日々の練習の成果を発揮することができ、吹奏楽部門で優勝、三部門の総一位としてウィーン大賞を受賞することが出来ました。この時仲間と共に感じた感激は一潮でした。

私達の部活動は、先生方、保護者の皆様のサポートもさることながら、同窓会の皆様のお力添えがあったからこそ、存分にできるものと、心から感謝しておりました。

このたび、その同窓会で大切な役をいただきました。微力ではありますが、生徒の皆様の活動に少しでもお役にたつことができ、同窓会の皆様にいただいた御恩をお返しできるように、頑張ってみます。よろしく願い申し上げます。



## 援助費支給クラブの活動報告





## 2014年夏 吹奏楽部

八王子学園八王子高等学校  
吹奏楽部顧問 高梨 晃

同窓会の皆様には、日頃より多大なご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際にはご援助も頂き、重ねて御礼申し上げます。

さて、この夏のご報告ですが、まずは 8/10(日)～15(金)府中の森芸術劇場で行われた『第54回東京都高等学校吹奏楽コンクール』に今年もA組(55名)・B組(35人)・C組(20人)の全部門に出場致しました。昨年同様、B組は名誉顧問の高瀬新一郎先生に指揮をとっていただき、A・C組を私が指揮をさせていただきました。今年も全ての組で金賞を受賞、B組は最優秀賞グランプリを受賞、A組は東京都大会へと駒を進めました。また、C組は20名のメンバーの中に中学生が1名含まれており、本学初の中高合同メンバーでの大会出場となりました。



そして9/21(日)に行われた『第54回東京都吹奏楽コンクール』にA組が出場しました。会場は、予選と同様府中の森芸術劇場で行われました。昨年の敗北から奪回する為に、生徒たちの努力は凄まじく、かなり良い状態まで仕上がっていました。本番でも皆とてもリラックスをしてのびのび演奏することができ、観客の反応も良く、大きな拍手と共に歓声が飛び交いましたが、今年も結果は銀賞。審査講評の内容をしっかりと理解し、また次に繋げていかなければならない課題が残される大会となりました。



次に、『第27回全日本マーチングコンテスト東京都大会』が8/31(日)に有明コロシアムで開催され、本校は高校以上の部に出場しました。高校7団体、一般1団体の計8団体が出場し、本校は金賞、その他に4団体が金賞を受賞しました。その5つの金賞団体から2団体が全国大会出場権を獲得します。結果、全国大会出場権を得ることができました。もう1団体は昨年王者である東海大学付属高輪台高校で、余裕のある大変素晴らしい演奏でした。全国大会は1万人以上の客席数を誇る大阪城ホールです。それでも座席指定券は即日完売の大人気公演です。より完成度の高い演奏演技と八王子らしい爽やかなサウンドが披露できるように精一杯練習に励んでまいります。

昨年度は、アンサンブルコンテスト(打楽器8重奏)で全国大会に出場することができ、銀賞を受賞しました。定期演奏会を終えてからの大会となりなかなか落ち着いた練習時間を確保することができなかつたのですが、やはり全国の大舞台での演奏は気持ちよさそうでした。このように、全国区で活動できるのも日頃より厚いご声援をくださる同窓



会の方々をはじめ、学校関係者全ての方のお陰と心より感謝申し上げます。今年度は、10月初旬に第29回国民文化祭・あきた2014のマーチング部門に文化庁からの推薦により出演してまいります。また、11月初旬には横浜で行われる全国規模の大会が行われる他、下旬に大阪で行われるマーチングコンテスト、1月からはアンサンブルコンテストが始まります。このようなコンクールの他にも、幼稚園や小中学校、大学、市内外からの依頼演奏等、沢山の本番を控えております。一つ一つの本番を大切に、本気で楽しめる音楽を目指し、持ち前の笑顔で元気に活動してまいりますので、今後とも変わらぬご支援ご指導の程、よろしくお願い致します。

平成 26 年 10 月 1 日

八王子学園八王子中学高等学校 書道部 平成 25～26 年 活動報告

顧問 安藤 和則

コーチ 遠山 真実

同窓会の皆様には平素より多大なご支援をいただきありがとうございます。

以下に平成 25 年 10 月から 26 年 9 月までの書道部活動報告をさせていただきます。部員数は 16 名(内中学生 6 名)です。

●26 年 3 月に卒業した 3 年生 7 名は、専修大学(文学部・法学部)、工学院大学(工学部)、大東文化大学(書道科)、白梅学園大学(子ども)、大原簿記専門学校(医療事務)にそれぞれ進学しました。

●25 年 10 月には創玄書道会主催の「第 50 回全国競書大会」に半紙大で出品しました。この展覧会は全学年の芸術書道選択者約 400 名と一緒に参加し、誌上展ですので会場展示はなく主催者発行の月刊誌に掲載されました。出品料は 350 円で各自諸経費にて徴収しています。コーチの遠山先生は審査員です。

書道部の結果は次の通りです。

25 年 10 月

毎日新聞社賞	2-3	鄭 与佳
	2-7	光本 日向子
学年優秀賞	1-7	樋口 純子

☆鄭さんは特進クラスの生徒で、学業成績も学年 3 位と、立派に両立しています。

●25 年 11 月は毎日新聞社主催の「第 22 回国際高校生選抜書展」通称「書の甲子園」と呼ばれる展覧会で、文字通り中国やインドなど海外の高校生も出品しています。全紙大(137 cm×75 cm)または半切大(137 cm×37.5 cm)と大作品のため、書道部のみが参加しています。出品料は無料ですが、入選すると作品を表装して展示します。

結果は次の通りです。

25 年 11 月

準大賞	3- 6	古関 志緒里
入選	3-10	中島 桃
入選	3-12	郡 みのり
入選	2- 3	鄭 与佳
入選	2- 7	光本 日向子

☆古関さんは 3 年連続の入選で、しかも今年は準大賞。楷書の安定した筆致から生み出される重厚感は、審査員をうならせました。また、この受賞によって南関東の優秀校として、学校賞も受賞し、毎日新聞にも記事が掲載されました。



●26年3月は創玄書道会主催の「第50回創玄展」に出品しました。この展覧会は主に書家を目指す人達が出品する、レベルの高い展覧会で、書道部も8年ほど前から参加しています。作品の大きさも全紙よりも大きく150cm×60cm又は90cm×90cm大で一般生徒には難しく、書道部のみ参加しています。毎年夏休みの合宿で部員それぞれの力に合った作品の傾向を考えます。コーチの遠山先生は審査員です。この展覧会の表装料は同窓会から援助して頂きました。

結果は次の通りです。

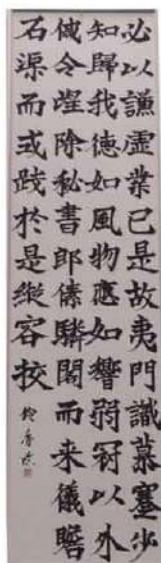
二科賞	2-3	鄭 与佳
二科賞	1-7	徳永 鈴香
二科賞	1-7	樋口 純子
準二科賞	1-11	久島 千弥
入選	2-7	光本 日向子
入選	1-4	鈴木 香帆
入選	1-6	飯岡 香純

26年3月

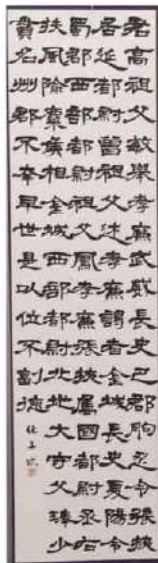
☆二科賞3名の受賞は快挙です。二科賞を2回受賞すると一科に昇格し、その後は入賞回数のポイント制で審査員へ昇格の道が開けます。そういう意味でも、高校生のうちの二科賞受賞はとても重みのある賞と言えます。



鄭 与佳



徳永 鈴香



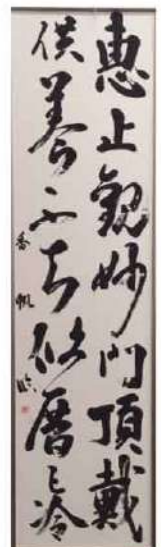
樋口 純子



久島 千弥



光本 日向子



鈴木 香帆



飯岡 香純

- 前記の「第50回創玄展」と併設している「第50回創玄学生展」には、中学生を中心に出品しました。高校生は半切大、中学生は半切4分の1大です。一般生徒は出品しません。中学生は大きな展覧会には初めての出品でしたが、よく頑張りました。

結果は次の通りです。

26年3月

奨励賞	1-7	中澤 瑞希
奨励賞	中2-1	谷津 好香
秀作	中2-1	坂村 のぞ美
秀作	中2-2	横田 真優
秀作	中2-3	小鶴 奈々華



中澤瑞希



谷津好香



坂村のぞ美



横田真優



小鶴奈々華

- 26年5月は、高野山書道協会主催の「第49回高野山競書大会」に半紙大で出品しました。2年前までは、授業での一般生徒も出品していましたが、5月の出品では授業での作品が仕上がらないので、現在では書道部のみが出品しています。

26年5月

金剛峯寺賞	2-7	樋口 純子
管長賞	3-3	鄭 与佳
協会賞	3-7	光本 日向子

☆樋口さんの金剛峯寺賞は最高賞で書道部初の快挙です。高野山金剛峯寺での表彰式には保護者と一緒に参列し、他の作品も鑑賞してきました。



樋口純子

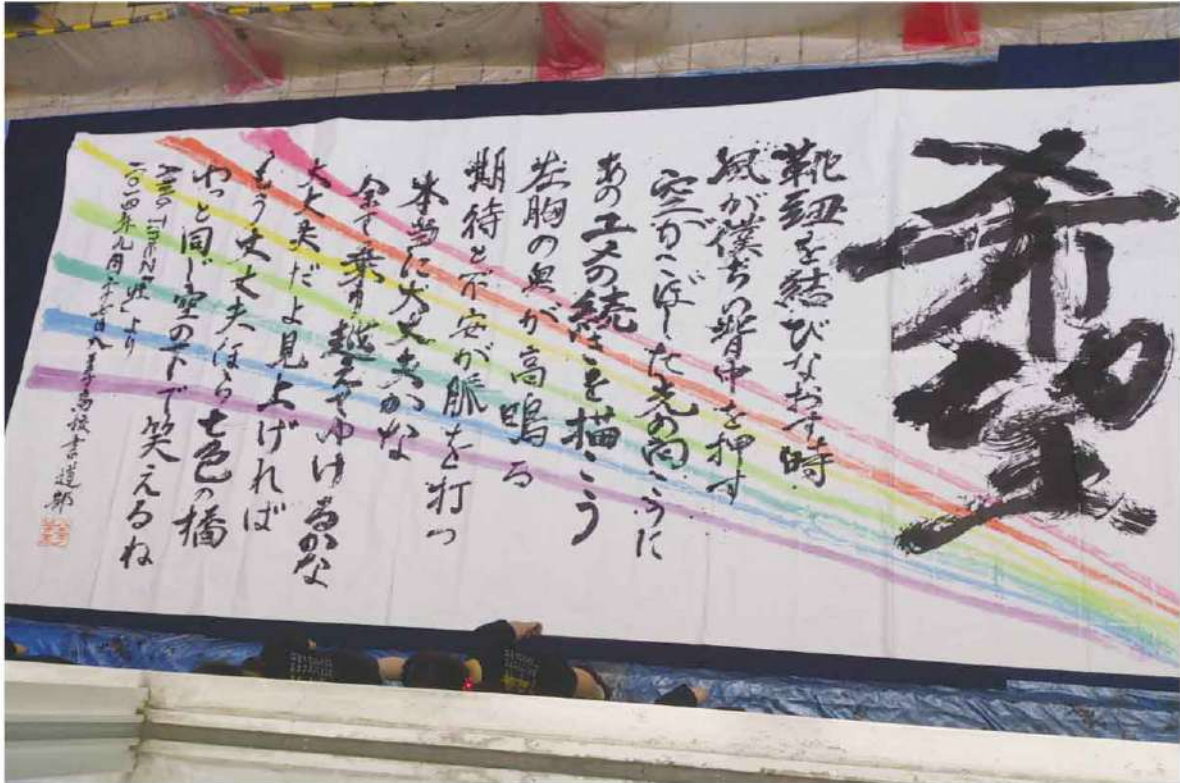


表彰式(奥が樋口さん)



受賞者記念写真(右端中段が樋口さん)

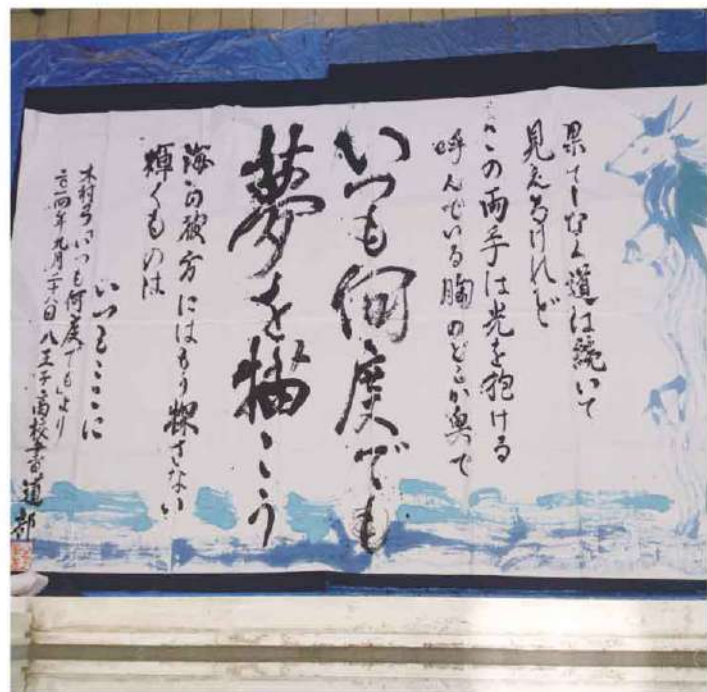
●26年9月の学園祭、コーラス部とのコラボレーションで、書道ガールズが歌の歌詞を揮毫しました。



☆高校生は緊張の中にも、余裕が感じられました。



☆中学生も大勢の観衆の前で、初めてのパフォーマンスを披露しました。



☆龍の絵を描いたのは、部長の鄭さんです。

## 柔道と多くの方々に感謝

八王子学園

柔道部監督 川野 昭吾

同窓会の方々におかれましては日頃より柔道部に、そして日々指導に携わっております私にまで心温まるご厚情を賜りまして、深く感謝申し上げます。

昭和56年、私が日本体育大学を卒業しましてこの八王子学園に奉職し、同時に柔道部の監督となりまして、今年で34年目を迎えるという長い歴史になりました。この間も歴代の理事長先生・校長先生をはじめ多くの諸先生方、そして同窓会の諸先輩方にご指導、ご助言を賜りながら歩んでまいりました。

更に、この34年の間に数多くの教え子達にも恵まれ、現在はその教え子たちはOB会として一致団結の中、陰より私をはじめ柔道部を支えてくれております。

その教え子の中には、昭和60年度卒の小川直也という日本国内だけではなく、世界のトップに立ったような選手を育てることもでき、このような選手の育成に着手できました事は指導者として宝物として今も大切にしております。

また、小川の他にも高校時代に八王子学園の看板を背負ってインターハイや国体、関東大会等で堂々と戦い活躍した教え子も大勢おり、そのことも指導者冥利に尽きるものであります。

現在、日本柔道界は世界という舞台で勝負しても以前のように簡単には勝てず、苦しい状況が続いています。その柔道界の末端ではあります高校柔道という世界の中で、心身ともに健全で、強固な人間力を備えた青年の育成に、携わっている事に指導者として身の引き締まる思いと捉えています。

定年退職まであと数年となりましたが、今までと変わらぬ精神で日々指導に取り組んでいきたいと思っております。これからも同窓会の方々にはお世話いただく事が多々あるとは存じますが、宜しくご支援のほど、お願い申し上げます。

また、前記の教え子達が、在学中から卒業後に至るまで活躍した足跡を記載しました。スペースの関係で一部しか記載できませんが、教え子達の血と汗と涙の結晶ですので、ご高覧いただければ幸いかと存じます。





【本校在学時、全国規模以上の大会のみ】

昭和	57 年度	日米高校対抗試合	日本71kg級代表	阿部雅人、国際武道大一大成建設
	58 年度	日独高校対抗試合	日本95kg級代表	井上貴史、拓殖大一自営業
	59 年度	若潮杯全国招待試合	団体戦	5 位
	60 年度	金鷲旗争奪全国高校柔道大会	団体戦	9 位
		インターハイ	男子95kg超級	5 位 (小川直也—明治大—格闘家)
		国民体育大会柔道競技	少年男子の部	優 勝 (小川直也—明治大—格闘家)
		全日本ジュニア選手権	95kg超級	5 位 (小川直也—明治大—格闘家)
	62 年度	全国高校柔道選手権大会	女子72kg級	5 位 (川西栄子—国武大—看護師)
	63 年度	関東高校柔道大会	女子重量級	3 位 (川西栄子—国武大—看護師)
平成	元 年度	関東高校柔道大会	女子重量級	3 位 (川西栄子—国武大—看護師)
	3 年度	国民体育大会関東ブロック大会		4 位 (野崎琴江—学芸大—主婦)
		全国高校柔道選手権大会	女子52kg級	5 位 (野崎琴江—学芸大—主婦)
	4 年度	関東高校柔道大会	女子軽量級	5 位 (野崎琴江—学芸大—主婦)
		インターハイ	女子団体戦	3 回 戦
		国民体育大会関東ブロック大会		4 位 (野崎琴江—学芸大—主婦)
		全国高校柔道選手権大会	女子52kg級	準 優 勝 (野崎琴江—学芸大—主婦)
	5 年度	関東高校柔道大会	女子軽量級	準 優 勝 (野崎琴江—学芸大—主婦)
		インターハイ	女子団体戦	3 回 戦
		国民体育大会関東ブロック大会		4 位 (野崎琴江—学芸大—主婦)
	6 年度	関東高校柔道大会	女子中量級	9 位 (小川美奈子—都立短大)
	7 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
			女子中量級	5 位 (小川美奈子—都立短大)
			女子軽量級	9 位 (長岡由紀子—栄養士)
		全国高校柔道選手権大会	女子56kg級	3 回 戦 (小川美奈子—都立短大)
			女子66kg級	2 回 戦 (小林実子—本校事務)
	8 年度	関東高校柔道大会	女子中量級	5 位 (田中美穂—淑徳短大)
			女子軽量級	5 位 (長岡由紀子—栄養士)
	10 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
			女子軽量級	5 位 (山本良子—桜美林大—主婦)
		全日本ジュニア選手権	女子48kg級	2 回 戦 (館岡美貴—都立短大—主婦)
		全国高校柔道選手権大会	女子48kg級	5 位 (山本良子—桜美林大—主婦)
平成	11 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
			女子軽量級	3 位 (山本良子—桜美林大—主婦)
		全日本ジュニア選手権	女子48kg級	5 位 (山本良子—桜美林大—主婦)
	13 年度	関東高校柔道大会	男子無差別級	5 位 (石倉光彦—横浜桐蔭大)
		全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	3 位
		全国高校柔道選手権大会	男子団体戦	出 場
	14 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	5 位

15 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	出 場
	全国高校柔道選手権大会	男子団体戦	出 場
16 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	5 位
17 年度	インターハイ	男子60kg級	3 位 (高橋 治一国際武道大)
	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	準 優 勝
	国民体育大会柔道競技	少年男子の部	3 位 (高橋 治一国際武道大)
18 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	出 場
	インターハイ	男子90kg級	出 場 (平山涼二ーセントラル警備)
19 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	出 場
	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	3 位
20 年度	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	優 勝
22 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
23 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	2 回 戦
	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	5 位
24 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
	インターハイ	男子60kg級	3 回 戦
	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	5 位

#### 【30年間で関東大会以上の戦績のまとめ】

関東高校柔道大会	男子団体戦 (17回出場)
	男子個人戦 (1回出場)
	女子個人戦 (10回出場、うち準優勝1回、3位2回)
インターハイ	女子団体戦 (2回出場)
	男子個人戦 (4回出場、うち3位1回、5位1回)
国民体育大会柔道競技	男子個人戦 (2回出場、うち優勝1回、3位1回)
全日本ジュニア選手権	男子個人戦 (1回出場、うち3位1回)
全国高校柔道選手権大会	男子団体戦 (2回出場)
	女子個人戦 (7回出場、うち準優勝1回、5位2回)
全国体育系高校柔道大会	男子団体戦 (7回出場、うち優勝1回、準優勝1回、3位3回)

#### 【30年間で東京都大会の戦績のまとめ】

関東高校柔道大会	男子団体戦 (5位12回)
	男子個人戦 (準優勝1回、3位4回、5位15回)
	女子個人戦 (優勝6回、2位5回、3位5回、5位5回)
インターハイ	男子団体戦 (3位4回、5位13回)
	女子団体戦 (優勝2回、2位1回、3位4回、5位2回)
	男子個人戦 (優勝4回、2位1回、3位21回、5位34回)
国民体育大会柔道競技	男子個人戦 (優勝2回、2位2回、3位9回、5位14回)
	女子個人戦 (優勝2回、2位2回、3位5回)

学年別団体戦	各学年団体 (3位10回、5位29回)
全国高校柔道選手権大会	男子団体戦 (3位2回、5位13回)
	男子個人戦 (3位4回、5位5回)
	女子個人戦 (優勝7回、2位13回、3位6回、5位1回)

【卒業後のOBたちの活躍、全国規模以上の大会の個人戦のみ】

- ・小川直也(明治大ーJ R Aー格闘家)  
全日本柔道選手権大会(連覇を含む多数優勝)、世界柔道選手権大会95kg超級・無差別級(金メダル)  
バルセロナオリンピック95kg超級(銀メダル)、他日本のみならず国際級の選手として活躍
- ・倉吉智宏(日本体育大ー京葉ガス)  
ベトナム国際柔道大会90kg級(銅メダル)、国民体育大会成年の部(千葉県代表、3位)
- ・山本良子(桜美林大ー主婦)  
講道館杯世界柔道選手権国内選考会女子48kg級(出場)
- ・石倉光彦(横浜桐蔭大ー飲食店勤務)  
関東学生体重別選手権大会100kg超級(3位)
- ・斉木敏明(山梨学院大ー会社員)  
関東ジュニア選手権大会73kg級(優勝)、全日本ジュニア選手権大会73kg級(5位)  
関東学生体重別選手権大会73kg級(優勝)、全日本学生体重別選手権大会73kg級(5位)  
講道館杯柔道選手権大会73kg級(5位)
- ・古田秀州(國學院大ー神奈川県警)  
東京学生体重別選手権大会100kg級(3位)、全日本学生体重別団体戦(3位)  
全国警察官柔道選手権大会100kg級(優勝)、全国警察官柔道団体戦出場、講道館杯100kg級出場  
全国警察官柔道選手権大会100kg級(準優勝)
- ・高橋 治(国際武道大ー千葉県警)  
関東ジュニア選手権大会60kg級(3位)、全日本ジュニア選手権大会60kg級(出場)  
関東学生体重別選手権大会66kg級(3位)、全日本学生体重別選手権大会66kg級(5位)
- ・平山涼二(セントラル警備ー飲食店)  
全日本実業団体体重別選手権大会無差別級(3位)
- ・野村優貴(国際武道大ー川越刑務所)  
全日本学生体重別団体戦(5位)、関東学生体重別団体戦(3位)
- ・有田竜之介(国際武道大学)  
香港国際柔道選手権66kg級(金メダル)、関東学生体重別選手権66kg級(優勝)  
関東ジュニア選手権66kg級(準優勝)、講道館杯66kg級出場
- ・藤阪太郎(国士舘大学)  
全日本学生体重別団体戦出場

## 毎年の応援に感謝いたします

八王子学園八王子高等学校

陸上競技部顧問 渡邊 大輔

日頃より同窓会の皆様には、関東大会、インターハイ、全国駅伝出場の際に激励の言葉や激励金を戴いたりとお世話になり有難うございます。

昨年度の駅伝、女子においては都駅伝で優勝し、2年連続の全国大会出場を果たすことができました。師走の都大路では、力を出し切り目標としていた15位以内に入ることができました。



また、今年度のトラック&フィールドの試合結果は、5月の都総合体育大会では、男子総合4位、女子は3位という結果を残しました。この都大会の結果、神奈川県で行われた関東大会には多人数の出場となりました。関東大会では男子7名、女子7名が6位内に入賞し、14名が7月30日から8月3日まで山梨中銀スタジアムで行われたインターハイ

に出場することが出来ました。インターハイでは男子400mHで4位、男子4x400mRで5位と複数種目で入賞することができました。また他の種目では、決勝まであと一步の所で涙をのみましたが、有望な1、2年生が多くいるので、来年は今年より多く入賞することを目標としていきたいと思ひます。

現在、短距離、跳躍、投擲においては、都新人大会（9月20、21、23日実施）に臨んでいます。この新人大会で3位までの入賞者においては、10月に茨城で行われる関東選抜新人大会に出場でき、関東選抜新人大会に出場出来なかった者においては来年の活躍を目指し日々練習に励んでいる毎日です。また、駅伝では、11月3日に行われる都駅伝で、男子においては入賞、女子においては3連覇をめざし、関東大会、全国大会出場を目標に練習に励んでいます。



去年、今年と非常に良い流れができていますので、来年度におきましても、今年以上の結果を求め頑張っていきたいと思ひます。今後とも応援の程よろしくお願ひ致します。

## 【乾坤一擲】【全国制覇】

八王子学園八王子高等学校  
男子バスケットボール部  
顧問 石川 淳一

同窓会の皆様には、平素より多大なるご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

さて、今年度前半、我が部は関東大会並びにインターハイに出場することができました。目標を掲げながら、チーム一丸となって戦い、関東大会東京都予選においては2年連続優勝を果たし、関東大会に駒を進めました。同大会では準決勝まで勝ち進み、準決勝の相手は土浦日大高校（茨城）。前半は一進一退の攻防が続きましたが、主力選手が怪我をするアクシデントにより、後半リズムに乗れず敗戦。2年連続第3位となりました。

インターハイ東京都予選も順当に勝ち進み、決勝リーグは京北高校、足立学園高校、帝京高校とのリーグ戦となりました。結果は3勝全勝で3年連続優勝し、10年連続インターハイ出場を果たしました。

インターハイでは、1回戦大阪桐蔭高校（大阪）と対戦。大阪桐蔭高校は初出場のチームであり、勢いがありました。前半、本校はリズムに乗れず19点のビハインドで折り返しましたが、後半、リズムを取り戻し相手チームを急追。延長戦にもち込みましたが、キャプテンのファールが加算して退場。延長の末100-106で1回戦敗退に終わりました。

その後、国民体育大会では本校より東京代表に4名が選出されるなど（3年：伊藤君、2年：新屋君、多田君、1年：根本君）、本校の選手が全国レベルにおいても高い評価を受けるに至っております。

今後は11月より始まる高校バスケットボール界の最高峰“ウィンターカップ”、その予選突破と本大会出場を目指し、現在、日々練習に励んでいます。

インターハイ10年連続14回出場、関東大会15年連続16回出場を果たすものの、未だ強豪チームとは言い難く、これからも日々精進し、チームの目標、“全国制覇”“日本一”をもう一度勝ち取る為に、頑張っていきたいと思っております。

今後とも同窓会の皆様方には変わらぬご支援の程よろしくお願いいたします。



## 2014年 水泳部の活動報告

八王子学園八王子高等学校

水泳部監督 安芸 進

新チームは2013年9月1日始業式から活動し、その月の下旬に行われた東京都高等学校新人水泳競技大会から新チームとして試合に臨みました。

男女の新キャプテンの元、個人の自己新記録更新よりチームとして準備・応援・レースに失敗がないように一丸となって遂行できるかが新チームとして目的でもあります。

その試合の結果は、団体で男子・女子、総合優勝をしました。

2014年4月男子5名・女子8名、13名の新人部員を迎え、在校生男子16名・女子19名、総合計男子21名・女子27名でスタートしました。

今年度の目標は、東京都高体連が主催する3大会で男子・女子、団体で総合優勝とインターハイのリレー種目、男子3種目・女子2種目決勝進出を掲げました。

4月10日～13日、日本最高峰の試合・第90回日本選手権水泳競技大会に2名の選手が出場することができ3年13組の仲家慎吾が1500m自由形に出場し決勝進出を果たし、9月上旬にマウイ島で行われたジュニアパンパシフィック選手権日本代表選手に選考され出場しました。

6月19日～22日、日本水泳連盟主催のジャパンオープンに8名の生徒が出場しました。また、多くの卒業生が出場した中で、明治大学2年在籍の神村万里恵選手が8月20日からオーストラリアで行われましたパンパシフィック選手権と9月20日からのアジア大会に日本代表選手として選考され出場しました。

6月28・29日、東京都高等学校選手権水泳競技大会・兼関東高等学校選手権水泳競技大会予選が東京辰巳国際水泳場で行われました。4月に掲げた男子・女子団体優勝は果たせず男子は準優勝、女子は優勝(3連覇)を成し遂げました。その結果、関東大会には男女合わせて34名の選手が出場権を得ることができました。

7月23日～25日千葉県国際水泳場にて関東高等学校選手権水泳競技大会兼日本高等学校選手権水泳競技大会予選(インターハイ予選)が行われました。その結果、男子13名・女子13名、合計26名の選手がインターハイの出場権を得ました。全国でも参加人数は2・3番目に多い学校となっています。

8月17日～20日全国高等学校総合体育大会が関東大会と同じ施設で行われました。結果、男子1500m自由形仲家慎吾選手が準優勝・男子200m平泳ぎで原大輔選手が8位、男子400mメドレーリレー7位・女子400mメドレーリレーで4位という結果でした。女子は目標より結果が残せませんでしたが、男子が予想以上の成績を残し在校生・応援に来て頂いた保護者の方々に感動を与えてくれました。

東京都の高校在籍生徒で4月の試合かインターハイまでの各種大会の記録を参考に国体選手が

選考されましたが本校から3年12組三田村美乃、2年12組兼子雄太郎、2年12組岡本卓也、1年11組斎藤能史、以上4名が東京都代表選手と選考されました。

結果、3年12組三田村美乃、少年女子A200m平泳ぎ3位・400mメドレーリレー3位。2年12組兼子雄太郎、少年男子A200m背泳ぎ5位・400mメドレーリレー3位。2年12組岡本卓也、400m個人メドレー3位・800mリレー2位。少年男子B100m自由形4位・400mメドレーリレー3位になるなど東京都代表選手として大活躍をしました。

2014年度のチームはこの大会をもって終了し、2015年度の男女の新キャプテンに9月引き継がれました。

本校水泳部のチーム作りは「憧れをもたれる先輩になれ」を目標に、指導をしています。上級生が自覚をもって下級生に手本となるような行動ができれば必ず良いチームとなり、結果に繋がります。今年度のチームも良く努力し頑張ってくれ、水泳部の伝統づくりに貢献してくれました。

最後に、多大なご支援を頂いた八王子学園同窓会の皆様方に深く感謝申し上げます。2015年度に向け気持ちを引き締め、今後も頑張りたいと思いますので更なるご支援とご協力をお願い致します。



## 甲子園出場をめざして

八王子学園八王子高等学校

野球部監督 安藤 徳明

同窓会の皆様には日頃より多大なご支援とご協力を賜り深く感謝いたしております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

さて、野球部の昨年秋から一年間の活動報告をさせていただきます。

昨年夏の選手権大会西東京大会3回戦で、5回コールド負けを喫してから2か月が経った9月、投手力・打撃力・守備力のすべてが今年のチームよりも大幅にアップ



した新チームが動き出しました。平成25年度秋季東京都大会は、東京都で開催される第68回国民体育大会[多摩国体]の高校野球(硬式)競技会[会場は八王子市民球場]が、9月29日から10月3日まで開催されるため、一次予選(ブロック予選)は8月31日から始まりました。1回戦は、初戦だからなのか選手たちに硬さが見られましたが、7回表一気に攻め立てて8点を奪い、結果10対2の7回コールドで勝利しました。

続く2回戦は、危なげなく19対0の5回コールド勝ちをおさめ、本大会出場のかかるA代表決定戦も3回に3点、4回にも3点を奪って試合の主導権を握りました。結果、9対1の7回コールドで勝利し、5年連続本大会出場を決めると同時に、平成26年度春季東京都大会本大会の出場も決めました。

秋季本大会1回戦の相手は岩倉です。守備の要である正捕手の柴田紘祐(2年)をケガで欠き、守備面や打撃面に不安を抱きながら臨んだ試合でした。3回裏二死三塁から4番菅原恒介(2年)のレフト前ヒットで1点を取り先制、4回裏にも1点を追加し、5回裏を迎えました。この回の攻撃は、1番青山大貴(2年)のレフト前ヒットで出塁したことに始まり、一死三塁から3番富田聖太郎(2年)が右中間を破る二塁打を放って1点を追加、一死満塁から相手内野手陣の守備の乱れからさらに2点が入り、なおも一死二、三塁から7番瀧沢響(1年)、8番主将の百田全人(2年)の連続タイムリーヒットで3点を追加して8対0となり、試合の主導権を完全に握りました。結果、9対1の7回コールドで勝利し、2回戦へ駒を進めました。

2回戦の相手は強豪校の修徳です。昨年の秋季都大会1回戦の相手で、9回表に一举4点を取って結果4対2で逆転勝利していますが、今年の修徳は、夏の東東京大会を制して甲子園に出場、国体でも優勝して波に乗っていました。1回、互いに2点を取り合って始まった試合は、5回表に、この大会背番号1をつける横森拓也(1年)が打ちこまれて4点を奪われてしまいましたが、その裏の攻撃で2点を返し、相手エースピッチャーを降板させました。8回表に1点を奪われ3点差になりましたが、その裏相手ピッチャーの乱調と2本のタイムリーヒットで2点を返して1点差に詰め寄りました。9回裏、一死から6番佐々木翼(1年)がレフト前にヒットを打って出塁しましたが、後続の打者が凡退して結果、6対7で敗れてしまいました。この試合、惜しくも1点差で敗れはしましたが、調子よく波に乗るチームを相手に互角に戦えたことは今後への収穫になりました。

年度が変わった4月、春季本大会が始まりました。前述しましたように、前年度の秋季大会一次予選を勝ち上がり、ブロックのA代表校になりましたので秋季本大会はもちろん、春季本大会の出場も同時



に決まっていますので、3月中旬の一次予選は戦っていません。

本大会は2回戦から出場、初戦の相手は安田学園です。この試合は、序盤から攻め立てて4回までに6点を取り、試合の主導権を握りました。また、背番号20をつけた篠原大輝(2年)が安定したピッチングで要所を締め、6回を散發4安打無失点に抑えた試合でした。結果、7対0の8回コールドで勝利しました。

3回戦の相手は郁文館です。この試合は打線が奮起し、1回表に1点を取って先制すると、2回表はヒット4本に2番石井雄也(2年)と5番菅原恒介(3年)の本塁打2本で一挙7点を追加して、勝負を決定づけました。結果、12対2の5回コールドで勝利し、4回戦へ駒を進めました。

4回戦の相手は駿台学園です。この試合も1回に1点を取って先制しました。4回裏に四死球2つとヒット2本を絡めて2点を追加しましたが、天候がくもりで肌寒かったせいなのかどうかわかりませんが、いつもの打撃は鳴りを潜めていました。「打」が振るわなかった分「投」が調子よく、この試合も篠原大輝(2年)が先発し、ヒット7本を打たれたものの要所を締めるピッチングで9回を投げ切り、結果、3対1で勝利し、3年ぶりの準々決勝へ駒を進めました。

準々決勝の相手は強豪校の帝京です。昨秋のブロック予選後のケガで長く戦列を離れていた正捕手の柴田紘祐(3年)の復帰戦であり、「相手がどこであれ、相手を意識することなく自分たちの野球をやろう」と臨んだ試合でした。序盤の1、2回は互いに無得点で終わり、試合が動き出したのは3回からでした。3回裏、4試合目の登板になった篠原大輝(2年)が連続四球とライト前のタイムリーヒットで二死から1点を奪われ、4回裏、相手4番打者に本塁打を打たれて1点を失い、横森拓也(2年)にバトンタッチしました。リリーフした横森も投球にいつものキレがないからなのか相手打線につかまってしまう、二塁打を含む4安打2四球で一挙4点を奪われ、試合を決定づけられてしまいました。投手陣が崩壊するならば、逆に、打線が奮起したいところでしたが、背番号10をつけた相手ピッチャーに7回まで散發3安打無得点に抑えこまれていました。しかし、「コールド負けしたくない」、「9回まで戦うんだ」という気持ちが選手間で高まってきたのか、8回に1点を返して、9回も3本のヒットを絡めて2点を返しましたが、反撃はここまでで終わり、結果、3対7で敗れてしまいました。けれども、試合を最後まで諦めない気持ちや終盤の粘り、そして守りの要である正捕手の柴田が戻ってきたことは、夏の大会につながる大きな収穫となりました。また、夏の大会のシード権、それも上位のシード権を獲得することができました。

7月、夏の選手権大会西東京大会が始まりました。春季都大会の結果によって、この大会を第2シードで臨み3回戦からの出場になりました。初戦の相手は大成です。1回裏一死から2番石井雄也(2年)が粘って四球を選び出塁すると、次打者の初球に盗塁、二死三塁から4番高橋啓太(3年)のライト前タイムリーヒットで1点を先取しました。2回裏二死一、三塁から、1番井上洸貴(3年)の二塁打で1点を追加しました。5回裏、先頭の1番井上洸貴(3年)、2番石井雄也(2年)が連続四球、盗塁や暴投で無死二、三塁となり、3番佐々木翼(2年)のセンター前タイムリーヒットでまず1点、一死一、二塁から5番柴田紘祐(3年)がレフトへ本塁打を放ってさらに3点を加え、二死二、三塁から9番横森拓也(2年)のセンター前タイムリーヒットで2点が追加され8対0となり、この試合の勝負を決定づけました。投げては、先発ピッチャーの横森拓也(2年)が相手打線を7回二死まで無安打無失点に抑え、あと一人抑えれば参考記録ながらノーヒットノーランが成立するところ、相手5番打者にレフト前にヒットを打たれて、記録樹立を阻止されてしまいました。結果、8対0の7回コールドで勝利しました。

4回戦の相手は、前の2試合ともに延長戦をサヨナラ勝ちして勢いに乗っている日本学園です。1回表に2四球と3本のヒットを絡めて2点を取って先制しましたが、2回裏に先発ピッチャー篠原大輝(2年)が相手打線につかまり1点を返され、リリーフした田村佳大(2年)も二死満塁から連続タイムリ

一ヒットを打たれて3点を失い、2対4と逆転されてしまいました。しかし、このチームは慌てない。3回表、3番佐々木翼(2年)が右中間を破る三塁打を打つと、続く4番高橋啓太(3年)がレフトへ本塁打を放って同点に迫りました。2回表に田村佳大(2年)をリリースした横森拓也(2年)のピッチングが安定してくると、流れが変わってきたのか打線がつながるようになり、5回表に1点、6回表に3点を追加、7回表には打者9人で1四球と5本のヒットを絡めて4点を奪い、この試合の勝負を決定づけました。結果、12対4の7回コールドで勝利し、5回戦へ駒を進めました。

5回戦の相手は立川です。序盤の1、2回で1点ずつを取り、4回表には2四球と3本のヒットを絡めて3点を奪い、この試合の主導権を握りました。先発した背番号1のピッチャー児玉征波(3年)は、2回こそ連続四球を与えてピンチを招きましたが、レフトを守る富田聖太郎(3年)の好捕と好返球にも助けられ、7回を散發4安打に抑えこみました。結果、7対0の7回コールドで勝利し、第91回大会以来5年ぶりの準々決勝へ駒を進めました。

5年ぶりに神宮球場で行う試合の相手は、第3シードの強豪校東海大菅生です。序盤の2回表に本塁打と守備の乱れも加わって2点を先取され、続く3回表にも1点を奪われて3点差がついてしまいました。相手のペースで試合が展開されそうになりましたが、先発ピッチャー横森拓也(2年)が本来のピッチングを取り戻して安定してくると、打撃陣が目覚めたのか、5回裏二死二、三塁から3番佐々木翼(2年)のライトオーバーの二塁打で2点を返し、1点差に迫りました。7回裏には二死二塁から4番高橋啓太(3年)のライト前タイムリーヒットで同点に迫りました。8回裏、先頭の6番菅原恒介(3年)がセンター前にヒットを打って出塁しチャンスを作ると、続く7番青山大貴(3年)が送りバント、しかし小フライになってしまい、ランナーを二塁へ送れませんでした。後続も断たれ、勝ち越しチャンス逃してしまいました。9回表、相手6番打者がレフト前にヒットを打って出塁すると、次打者が送りバントを成功させて一死二塁となり、勝ち越しのチャンスが相手にいってしまい、8番打者に右中間を破る三塁打を打たれ、勝ち越しの貴重な1点を入れられてしまいました。9回裏の攻撃は三者凡退に終わり、結果、3対4で敗れてしまい、選手たちの夏は終わってしまいました。この試合を振り返ってみると、送りバントの明暗が勝敗を左右させた試合でしたし、昨秋からのチームは今までにない粘りがあり、強豪校と互角に戦い合えるチームに成長していただけに、負けて悔しさが残る試合でした。また、勝つためには何をしなければならないのか、勝ち切るためには何が必要なのか、いくつも課題を残した試合でもありました。

現在の部員数は、現役を退いた3年生20人を除いて、2年生24人、1年生20人、そして女子マネージャー5人の計49人です。夏の大会での悔しい敗戦から2か月間、投手力はもちろんのこと打撃力や守備力のレベルアップを図り、練習内容をより充実させて毎日夜遅くまで練習に取り組んできました。また、8月上旬の私学リーグ、8月中旬の関西遠征など、強豪校を相手に練習試合を数多くこなして実戦力を磨き上げてきました。

平成26年度の秋季都大会は、9月6日から一次予選が始まり、わが野球部は、予選を勝ち上がって6年連続本大会出場を決めました。10月11日から本大会が始まり、熱戦が繰り広げられます。夏の大会で悔しい敗戦を喫して大粒の涙を流した2年生メンバーに、実力派ぞろいの1年生が加わった新チームが、これからの大会で躍動します。

野球部は、これからも甲子園出場をめざして、また、『必勝 ありんこ軍団』を合言葉にして、指導者、選手、ベンチ、スタンドが一体となった「全員野球」で各大会に臨む所存でございます。

今後とも、同窓会の皆様方には相も変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

《戦績》

◇平成25年度 秋季東京都高等学校野球大会 一次予選

第3ブロック 1回戦 25.8.31 於：八王子高校上柚木グラウンド

**八王子** 0 0 0 0 1 1 8 10  
 足立学園 0 0 2 0 0 0 0 2 (7回コールド)  
 投手—捕手：横森(1年)，田村(1年)—柴田(2年)

第3ブロック 2回戦 25.9.7 於：八王子高校上柚木グラウンド

淑徳巣鴨 0 0 0 0 0 0  
**八王子** 3 4 3 9 × 19 (5回コールド)  
 投手—捕手：宮本(2年)，山口(2年)—柴田(2年)

第3ブロック A代表決定戦 25.9.14 於：八王子高校上柚木グラウンド

正則学園 0 0 1 0 0 0 0 1  
**八王子** 0 1 3 3 0 2 × 9 [本大会出場]  
 投手—捕手：田村(1年)—柴田(2年)

◇平成25年度 秋季東京都高等学校野球大会 本大会

1回戦 25.10.12 於：都営駒沢球場

岩倉 0 0 0 0 1 0 0 1  
**八王子** 0 0 1 1 6 1 × 9 (7回コールド)  
 投手—捕手：横森(1年)，田村(1年)—高橋(2年)

2回戦 25.10.14 於：市営立川球場

**修徳** 2 0 0 0 4 0 0 1 0 7  
**八王子** 2 0 0 0 2 0 0 2 0 6  
 投手—捕手：山口(2年)，横森(1年)，田村(1年)—高橋(2年)

◇平成26年度 春季東京都高等学校野球大会 本大会

2回戦 26.4.5 於：八王子市民球場

安田学園 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
**八王子** 2 0 2 2 0 0 0 1 × 7 (8回コールド)  
 投手—捕手：篠原(2年)，児玉(3年)—高橋(3年)

3回戦 26.4.8 於：神宮第二球場

**八王子** 1 7 0 3 1 12  
 郁文館 0 0 0 2 0 2 (5回コールド)  
 投手—捕手：篠原(2年)，横森(2年)—高橋(3年)，齊藤(2年)

4回戦 26.4.13 於：八王子市民球場

駿台学園	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
<b>八王子</b>	1	0	0	2	0	0	0	0	×	3

投手—捕手：篠原(2年)，児玉(3年)—高橋(3年)

準々決勝 26.4.19 於：神宮第二球場

八王子	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
<b>帝京</b>	0	0	1	1	4	0	0	1	×	7

投手—捕手：篠原(2年)，横森(2年)，児玉(3年)—柴田(3年)

◇第96回全国高等学校野球選手権大会 西東京大会

3回戦 26.7.15 於：八王子市民球場

大成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>八王子</b>	1	1	0	0	6	0	×	8	(7回コールド)	

投手—捕手：横森(2年)—柴田(3年)

4回戦 26.7.17 於：八王子市民球場

<b>八王子</b>	2	0	2	0	1	3	4	1	2	
日本学園	0	4	0	0	0	0	0	4	(7回コールド)	

投手—捕手：篠原(2年)，田村(2年)，横森(2年)—柴田(3年)

5回戦 26.7.19 於：八王子市民球場

<b>八王子</b>	1	1	0	3	0	2	0	7		
立川	0	0	0	0	0	0	0	0	(7回コールド)	

投手—捕手：児玉(3年)—柴田(3年)

準々決勝 26.7.22 於：神宮球場

<b>東海大菅生</b>	0	2	1	0	0	0	0	0	1	4
八王子	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3

投手—捕手：横森(2年)—柴田(3年)

校歌 『愛の学び舎』

井田誠一 作詞  
宮田 進 作曲

すずかけの 若葉の窓べ  
友と語らう 今日のよろこび  
平和の小鳩 空たかく  
ああ あふれる 智恵の泉  
自由の学び舎 八王子学園

武蔵野の みどりの丘べ  
友と夢みる 明日のしあわせ  
文化の光 野にみちて  
ああ きらめく 若き力  
自由の学び舎 八王子学園

花かおる 心の広場  
日ごといそしむ 愛のまなびや  
希望の旅路 雲とおく  
ああ はばたく 智恵のつばき  
自由の学び舎 八王子学園

# 八王子学園同窓会

事務局

〒193-0931

東京都八王子市台町4-35-1

八王子学園八王子中学校・高等学校内

TEL 042-623-3461

FAX 042-626-5646

URL <http://www.hachioji.ed.jp/>